



ぐんま人間学・精神病理アカデミー・2011 基本テーマ「間主観性」

身体性、精神性、霊性など動物と異なる側面をもつ人間を全体的視野から捉える人間学は、臨床精神医学の基本をなすものです。しかし今日の精神医学は大きく生物学に傾斜し、大学医学部における研究の大半を脳科学が占めています。本アカデミーは精神科医に本来あるべき人間学的なみかたを取り戻し、バランスのとれた臨床技術を育くむ目的から設立されました。原則として年 1 回、群馬県高崎市で開催し、講演とケースカンファレンスを組み合わせて、少人数の親しい雰囲気のなかで精神病理学、心理学、哲学、宗教、歴史、社会、芸術などの教養や症候学、診断学を学ぶ場を提供することを目指しています。

日時 2011 年 11 月 26 日(土)10:00~18:00

会場 群馬病院カンファレンスルーム(群馬県高崎市稲荷台 136)

主催 群馬病院出版会(<http://www.ghp.or.jp>) 担当: 水野谷(みずのや)

e-mail: gh-shuppankai@ph-gunma.com ☎(027)373-2251

企画立案 濱田秀伯(精神病理学), 岩熊史朗(心理学), 奈良雅俊(哲学), 西村麻由美(臨床心理学)

企画顧問 木田元(哲学)

プログラム

濱田秀伯「人間学的精神病理学の基本思想—マックス・シェーラーを中心に—」
(基調講演)

斎藤慶典「間主観性と他者—現象学・哲学の立場から—」

丸田俊彦「精神療法と間主観性」

ケースカンファレンス(司会: 濱田秀伯), 全体討論, 懇親会

対象 おおむね卒業後 10 年以内の若手精神科医, 専修医, 研修医

参加費 5,000 円(テキスト, 昼食, 懇親会費を含む)

申し込み 群馬病院出版会ホームページの【セミナー案内】を開き, 申し込みフォームの必要項目にご記入のうえメールでお願いいたします。